

議会報告会について（議会だより「ぴいぷる」の補足）

議会報告会・広聴会では、できるだけ質問にお答えしてまいりましたが、これはどうであったかという部分について、改めて掲載します。

今後とも、こうした議会報告会・広聴会や、議会の傍聴など、参加いただければ幸いです。よろしく、お願いいたします。

■広聴会で出されたご意見など

（意） 危険な場所での開催だが、なぜヘルメットを用意しないのですか。中央公民館は、耐震性は基準を満たしているが、耐久性がないので取り壊すと聞いています。例えば、ホールの吊り天井やスピーカーなどに不安があると聞いています。建物の耐震は満たしているが、それ以外に不安があると聞いています。その程度で壊すのですか。

（意） 財政計画と総合管理計画があり、細かい数字があります。5月22日の新聞報道で、トヨタ自動車社長が「潮目が変わった」とありました。今後、市の歳入でも、30年間や40年間でだいぶ変わってくると思います。今後、いろいろな修正をしないか、成り立たないと思います。歳出でも公共施設のあり方で、いろいろな施設があり、どういう方式等でやるかで、高浜小学校がどの方式で建つかでも変わってくると思います。その他の公共施設も、いろいろな方式で考えても、大きな医療費や介護費の問題が出ます。平成17年度から26年度の10年間で、20億円増加しています。財政計画も35年で、何億円だったか、予算計画等の修正を毎年、見直していく必要があると思います。社会情勢も変わっていきます。企業でも、35年見通すのは難しい。修正しないと難しいと思います。行政はどのようなベースでやられるか、どのような方法でしていくかわからないが、常に修正を図らないといけないと思います。

（問） 4年もつように計画を組むのが筋なので、そのコメントは変だと思います。4年間、施設を前倒しすると3億円浮くと言われましたが、次の施設を前倒しすれば、その施設の寿命が4年早まると思います。その先までのことを

考えるなんてと言われそうだが、その辺も考えているのですか。それとも、その直近の数字の3億円だけ浮くと言っているのか、表現に問題があるかと思いますが、どうですか。

(答) 簡単に言えば、4年もてばいいという話ではありません。「4年もつ」というお金の使い方はできないということです。例えば中央公民館も、市民が使われるのなら4年もてばいいというわけではなく、安心して使っていただく必要があります。その分、お金をかけないといけないので、4年もつように手直しをすればいいではありません。勘違いをさせてしまったのなら、申しわけないです。当然、前倒しでつくれば、確かに古くなるのも早くなります。市では、公民館と小学校の複合化を考えていますが、公民館を廃止するのなら、廃止された公民館の維持管理費や土地の売却を市民の財産として、生かすことができます。トータルで考えていただければと思います。

(問) 今年の3月かと思いますが、どのような経緯で議案が上ったのかという答えは、行政の答えということですか。過去2年間、25回の公共施設あり方検討特別委員会で議員に情報提供する中で協議・検討され、高浜市は公共施設マネジメント白書を策定、平成26年8月に公表し、中央公民館の機能移転の方向性を示しましたが、公共施設あり方検討委員会の意見は登用されるのですか。また、推進プランが平成27年2月に示され、中央公民館の機能移転の前倒しが初めて示されたといいますが、このときに初めて、議員が中央公民館廃止を知ったということですか。

(答) これは、中央公民館機能移転の前倒しの話が、ここで出てきたという話です。当初の計画は、平成31年の高浜小学校建てかえ時に機能移転するという話でしたが、維持管理費を切り詰めていかないと平成38年に基金が枯渇する中で「このままでいいのか」となり、推進プランの見直し案が出てきたのが平成27年2月です。その後、平成27年8月に示され、取り壊しの前倒しになったということです。

(問) 総論では、私は賛成ですが、各論反対になりがちなので、情報の出し方、大きなことですので、そんなことは知らなかったとならないよう、情報提

供をお願いします。

(答) 確かに、足りなかったのかなという反省もありますので、地域の方に十分に情報が行き渡るよう、私どもも配慮していかないといけないのかなと考えております。

(問) 市債は当初予算より多く、約百数十億円ということです。費用対効果で将来、ふえてしまったとならないよう、やり方を考えてほしいです。良くなったなという立場で、やってほしいです。

(答1) 計画について、過去の市債残高の低いところのように、長期財政計画で見直しをしていますし、議会でもしっかりと見ていきたいとしています。

(答2) 高浜市議会が、公共施設あり方検討特別委員会をつくりました。これは、行政からの情報を開示するためです。議会は、議決をしなければならぬことしか上がってきません。例えば、中央公民館の廃止ということでなければ、議案として上ってこないのです。予算を使う前までは、行政は我々に知らせなくても、事が運べます。それではいけないからと、受け皿をつくりました。もう一つは、公共施設マネジメント条例をつくったことです。この条例は議会が、「これをなくしてもいいよ」と言わないといけない。今後、市民に、どのようにつなげていけばいいのか、この広聴会をスタートとして、しっかりと皆さんの御意見を聞いていきたいと思っています。

(問) 先ほど「反省する」、「情報を流す関係で反省がある」とおっしゃっていましたね。

(答) 十分、市民の皆さんに情報が知らされていないと言われているので、もっと知らせていくように工夫しないといけないと思います。議員として、反省すべきところもあると思います。

(問) その反省に立つなら、議会でも住民投票をやらないといけないんじゃないですか。

(答) 御意見として、お伺いしておきます。どの地域に情報が届いていないというのは、アンケートを利用して記入してください。

(問) この公民館が 11 月に壊されるということが一人歩きしており、みんな

なに御理解と言われるならば、一人ひとりの意見を聞いて、そんなにあせる必要はないのではないのでしょうか。最初の説明会の時に、図書館も一緒につくることになっていましたね。堤防の外にあるので、津波の心配があると言っていました。そんなことは最初からわかっていることなのに、なぜ、その場所に建てたのかなと思います。今の話では、いとも簡単に図書館の計画はなくなっています。ころころ変わるのであれば、慌てて取り壊す必要はないと思います。

(答) 貴重な御意見、ありがとうございます。図書館は小学校ではなく、いきいき広場という選択肢もあるという中で、図書館は移転する方向でいくということです。

■議会報告会で出されたご質問など

ここでは、議会報告会で行われた、皆様の質疑と、その場で回答できなかったものを中心に、その要旨を掲載しています。なお、掲載されなかった分については、会場でお答え等しており、割愛させていただいていますので、御了承ください。

◎議会改革特別委員会

(問) 議会で、市側の出席者 30 数名がずっと出席をされていて、発言者は、部長やグループリーダーを中心に 10 名くらいです。その間、業務が停滞するので、これはいかななものか。また、予算審議で、説明する人は一所懸命説明をされていますが、セレモニー的な印象を受けました。それから、非常に不愉快な発言や、やり取りがありました。これもいかななものか。

(答) 議員が 16 名、当局はグループ制を採っているため、部長以下、グループリーダーも議場に入っています。一般質問の場合は、担当していない質問には入っていません。また、議場経験のあるなしは、しっかりとした勉強の場にもなり、将来的に差が出てくると思っています。また、セレモニー的のところですが、本会議の上程時に一番詳しく説明をすると理解しています。本

会議場での発言は、会議録に残ります。それを簡略化したり、避けたりということはできない部分でもあります。そこは、御理解をいただきますよう、お願いします。それと議員の態度、発言等で、皆さんにいろいろな思いを与えてしまったというお話ですが、反省して、今後、言葉を選び、失礼なくしっかりと意見を言い、質疑をして、議員として精進させていただきたい。

◎議会運営委員会

(問) 議案 37 号の補正予算で、新規事業として上げられていますが、国庫支出金しか書いてありません。全額国庫支出金で、一般財源は全く含まれていないという事業ですか。

(答) 金額を載せてありませんでしたが、これは国庫支出金 2,467 万 6 千円という全額の、10 分の 10 を国から補助いただき、急遽、補正として組み合わせていただいたという、国の交付決定がなされたものです。

◎福祉文教委員会

(問) 陳情 4 号で、9,510 筆の陳情署名を添えて提出したという市民の大きな声があったにも関わらず、委員会でも本会議でも、十分、吟味がされずにほごにされました。問題は、市が公共施設全体の計画を進める上で、人口減とか財政とか、いろいろな事情で縮減と節約するような説明をしておきながら、まだ十分に使える中央公民館を壊す。価値として 7 億円のを壊すのに 3 億円かける。病院も同様に、築 35 年、新しいもので 20 年の、まだ使えるものを新しいものに変える。豊田会の要望を受けることは、財政改革ではありません。問題は 11 月の、小学校を含めた公共施設のあり方の説明会の中で、高浜小学校の複合化では、単独で造ると 26 億円のが、複合化すると 37 億円。その中に中央公民館機能を含めた体育館や、図書館なども全部入れて 37 億円でできますと言ったものが、単独の場合、それが 50 億円くらいかかり、12 億円の縮減であるという説明でした。その学校の計画、設計案は 2 月 14 日の説明会で 53 億円に膨れあがりました。膨大な資金投下の計画になっても、3 月議会で議

員が十分吟味したかどうか。市の計画が次々と変えられても、歯止めがかかりません。二元代表制で、市長が暴走したときは、それを止めるのが議会の役割です。市の計画に対し、問題点を十分指摘したかどうか。私は傍聴しましたが、そういうことがされずに、この陳情は反対だとされました。議会のあり方が問われています。11月の提案と2月14日の提案では、全く変わっています。単独で26億円のものを、53億円もかける計画を進めようとしていることに、何も歯止めをかけていません。非常に疑問に思います。ある議員は、中央公民館はあったほうが良いに決まっていると言いながら、壊すのに賛成しました。議員がどう考えているのか、率直な考え方を伺いたい。

(答) 福祉文教委員会では、意見陳述で10数分意見を述べられ、それに対しての意見を、各委員が言われたと考えています。要するに、中央公民館の取り壊しだとか、そういったことに関しては、公共施設あり方検討特別委員会で説明していますが、長期的な財政計画で行政側からの説明を受けており、30何億円が53億円になったというのは、実勢価格に照らし合わせて直してみたら、そのようになったと聞いています。30何億円は建設省・総務省単価で計算しているということです。長期財政計画は今後、皆さんの御意見もお聞きしながら、そうした話はさせていただきたいと思います。小学校については、現在では来年の建設に向けてやっています。中央公民館については今後、公共施設あり方検討特別委員会で報告があると思いますが、福祉文教委員会は、そういうかたちで採決させていただいたと思っています。

◎公共施設あり方検討特別委員会

(問) 幼稚園はさわらないということで、実施方針にはプールがなくなるかわからないようなことが、本当にこれでいいのかと思います。議会として、この方針案で良いのかどうか、審議されているかと思うんですが、その点はいかがでしょうか。

(答) 外部の民間活力を考えています。

議会報告会・/広聴会 記入アンケートまとめ

ここでは、回収したアンケートの要旨を掲載しています。

■意見等（報告会）

- ① 準備等、大変お疲れさまでした。私が参加した報告会でもっとも「伝わる」報告会でした。（男・30代）
- ② 市民の意見を聞かない姿勢は、改めるべき。持っている情報は、全て出すこと。（春日町・男・50代）
- ③ 高浜市議会についての、このような会に初めて参加しました。私の世代は、こういったところへ来る考えが少ないので、何か、若い世代と呼ばれる世代にアピールできる方法を、専門家である皆さんにも考えてほしいです。（湯山町・男・30代）
- ④ 予算特別委員会の資料は、少なくとも総額と対前年度比を、できれば一般会計は、歳入歳出の、款別くらいは掲載しないと参加者は分からない。また、資料の説明に当たったページ数を添えたほうがよい。資料の、どこを説明しているかわからない。パワーポイントの、映像は見ていない（男・50代）
- ⑤ 何度も何度も、説明会を開いてほしい。公民館を壊さないで。（呉竹・女・60代）
- ⑥ 議会は、市長の暴走を防止すべく、重要な集団である。一度議決された方針に予算が大きく変化し増額されても、その方向を考え直すことがない。この辺が、市民との考え方と差異が生じるのではないだろうか。（湯山・男・70代）
- ⑦ 資料説明ではページ数が記載されているので、ページ数を言った上で説明されたい。各委員会に、各委員の名簿を記載するよう検討されたい。（青木・男・60代）
- ⑧ 高浜市全体のために、今後もがんばってほしい。（青木・男・60代）
- ⑨ 地方公共団体の、議会の形骸化がいわれ久しいと思われるが、二元代表制

の地方行政の中では、どうしても議会の影が薄くなり、市民との間が離れているようです。議会が、市民の代表機関として十分に機能するためにも、地方自治の原点である住民の意見を聞くとともに、執行部を監視することも極めて重要です。市長が市民の代表なら、議員もそれ以上に市民の代弁者であるべきと思われます。前市長以来、本市議会では、市執行部のチェックが十分になされなかったように思われますので、ぜひ政務調査費等を活用し、住民アンケート等を実施し、市民の意見を聞き、市政に反映していただきたい。(小池・男・70代)

⑩ できれば、地域的（高浜、吉浜、高取）に分けたところで、こうした場を設けられないでしょうか。(呉竹・男・70代)

⑪ 昨年、市議会立候補時、全員が市民公約として住民の意見要望等を議会に届け、実現のために全力投入をしますので、ぜひ御支援をと、当選した人ばかりです。結果、2016年3月議会に、住民から「中央公民館解体等々住民に賛否を聞いてくださいの住民投票」の陳情が9,510筆（過去議会陳情数では一番多いのでは）。議員各位の皆様方は「公約を守るため」、市民の意見を聞く耳を持ち、実行していただきたい。3年後の市議選をどうするか。(論地・男・60代)

⑫ 首長の提案に何でも賛成、の態度を改めるべきだ。市民の声をよく聞くという、原点に立つべきだ。(稗田・男・70代)

■意見等（広聴会）

① 公共施設マネジメント白書は、破綻している。議会として見直しを求めるべきでは。(春日・男・50代)

② 今後もタイムリーな事項について、広聴会を続けていただきたい。(青木・男・60代)

③ 法令事務を除き、市の一般財源を使う事業については、実施に当たっては当然、行政効果のある事業とすべきであると思われる（自治法）。他の自治体では、ほとんどその例を見ない「まちづくり協議会」に対する補助金は、市民の間で異論が多く、必ずしも住民のコンセンサスを得ているとは思えない。小生

がこれまで閃聞したオピニオンリーダー等の方々の意見も、大方、否定的であった。以上より、このような任意団体に、高額な一般財源を投入することはいかがか。ぜひ、議会の調査で住民の意見聴取・アンケート調査等をしてもらい、住民の意向に沿った市政を進めてほしい。「まちづくり協議会」については、他の自治体にもほとんどなく、こうしたこともあって、地域の住民間で一種の対立構造となってしまうことは、郷土をこよなく愛する住民としては大変残念です。どうか、従来の穏やかな地域を取り戻すためにも「まちづくり協議会」への補助金を、ぜひとも再検討されたい。(小池・男・70代)